

# 平成 29 年 12 月定例記者会見

【12月5日(火)午前11時／4階特別会議室】

## 会見項目

- 1 第9回宮古地区高校生研究・意見発表会について (産業支援センター)
- 2 第46回元祖宮古鮭まつりについて (観光港湾課)
- 3 第2回インバウンドセミナーの開催について (観光港湾課)

## 会見内容

別紙資料1～3のとおり。

## 記者との質疑

### **I A T 岩手朝日テレビ記者**

資料3の「インバウンドセミナー」について、どのような人が聴講できますか。

### **市長**

観光関係者だけでなく、一般の人も聴講できます。

### **I A T 岩手朝日テレビ記者**

資料2の「鮭まつり」は、会場が津軽石川河川敷に戻ってから何回目になりますでしょうか。また、最近のサケの水揚げ状況はどうですか。

### **市長**

鮭まつり会場が津軽石川河川敷に戻ってから、今回は3回目になります。津軽石川については、10月までは水揚げが少なかったですが、11月末の対前年同月比で約9割、12月に入ってから12月4日現在の対前年同日比で150%と増えています。比較する前年が不漁であったことは確かですが、今年は上回っているということですから、今後に期待したいところです。

### **I B C 岩手放送記者**

各地の鮭まつりを取材していますが、つかみ捕りの参加料は「元祖宮古鮭まつり」が一番安い。各地でバラつきがあるのは何か理由があるのでしょうか。

### **市長**

考えられることは、実施に掛かる経費の多寡が参加料の設定に影響しているのではないかと思います。例えば、つかみ捕りを実施するために、プールを作る必要があれば相応の経費が掛かりますが、津軽石川の場合はサケの遡上する川をせき止めることで実施できます。サケの確保においても、それぞれの事情で経費に差が生じているものと

思われます。

## 資料 1 第 9 回宮古地区高校生研究・意見発表会について

趣旨・目的	<p>高校生に研究・意見発表の場を提供することで、高校生が研究・意見発表に取り組み、主体性や考える力を身に付けることにより、人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>また、高校生の研究・意見発表への取り組み・考えを保護者や地域の企業、地域の皆さんに理解してもらう。</p>
日時	12月16日(土)午後1時～3時30分ごろ
場所	市民文化会館中ホール（磯鷄沖2番22号）
主催	宮古市（共催：宮古金型研究会）
内容	<p>■市内5校、7グループが、研究成果などを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宮古高校 「宮古市山口川の水質調査」</li> <li>○宮古北高校 「震災の風化について考える」</li> <li>○宮古工業高校 「環境整備 ものづくり ～より生活・作業しやすい環境の自己整備～」 「車いす整備の取組み」</li> <li>○宮古商業高校 「また来たくなる魅力ある地域づくり」</li> <li>○宮古水産高校 「三陸海の宝プロジェクト 新しい挑戦 つくり育てる地元カキ」 「宮古の真鱈でにぎわいの創出」</li> </ul>
特記事項	◎本発表会は、審査、表彰は行わず、また優劣もつけず、各発表後に講評者1名より講評をいただく（講評者調整中）
問い合わせ	市産業支援センター 産業支援係（☎68-9092）

## 資料2 第46回元祖宮古鮭まつりについて

趣旨・目的	宮古鮭まつりを通じて、「宮古の鮭」をPRし、販路や消費拡大及び、冬期における観光客の誘致を目的としている。
日時	12月17日(日) 午前9時～午後1時
場所	宮古市津軽石 津軽石川河川敷
主催	宮古鮭祭実行委員会
内容	<p>■鮭のつかみ捕り（計4回＝①9:30、②10:30、③11:30、④12:30）  1回1000円のつかみ捕り券を200人に販売（9:00販売開始）  つかみ捕りは、50人ずつ4回に分けて実施</p> <p>■ステージイベントなど</p> <p>9:45 宮水太鼓演舞  10:00 オープニング、餅まき  11:00 宮古市芸能団体連合会による民舞ショー  11:30 小田代直子歌謡ショー  12:00 鮭汁無料お振る舞い（先着300人）  12:30 鮭ラーメン早食い競争（先着10人。参加料500円）</p>
特記事項	<p>◎昨年度、第45回の来場者数は5,500人</p> <p>◎宮古駅から会場までシャトルバスを運行（往復5本）</p> <p>◎会場内に小学生鮭図画コンクール入賞作品を展示</p>
問い合わせ	一般社団法人宮古観光文化交流協会（☎62-3534）

### 資料3 第2回インバウンドセミナーの開催について

趣旨・目的	インバウンド誘致に係る機運を高めるため、全3回にわたる「インバウンドセミナー」を開催する。現状と課題について認識を深めることを目的とする。
日時	12月21日(木) 午後2時～4時 (開場は午後1時30分)
場所	シートピアなあと2階 研修ホール
主催	宮古市
内容	<p>■第2回目の今回は、「外国客船寄港時の外国人観光客の受け入れ」をテーマに、講演とワークショップを行う。</p> <p>① 概要説明 「今後の宮古港における外国客船の受け入れについて」</p> <p>② 講演 「外国客船の受け入れについて ～仙台港での事例ほか～」 講師：一般社団法人東北経済連合会 地域政策部長 <small>すがわらひでのり</small>菅原秀徳 氏</p> <p>③ ワークショップ 「外国人観光客へのおもてなし ～クルーズ船乗客をターゲットに～」</p>
特記事項	<p>◎入場無料</p> <p>◎定員100人</p> <p>◎事前申し込みが必要（申し込み締め切り：12月19日(火)） 申込先：宮古市国際交流協会（☎62-3534、FAX62-7030）</p>
問い合わせ	市観光港湾課 もてなし観光係（☎68-9091）